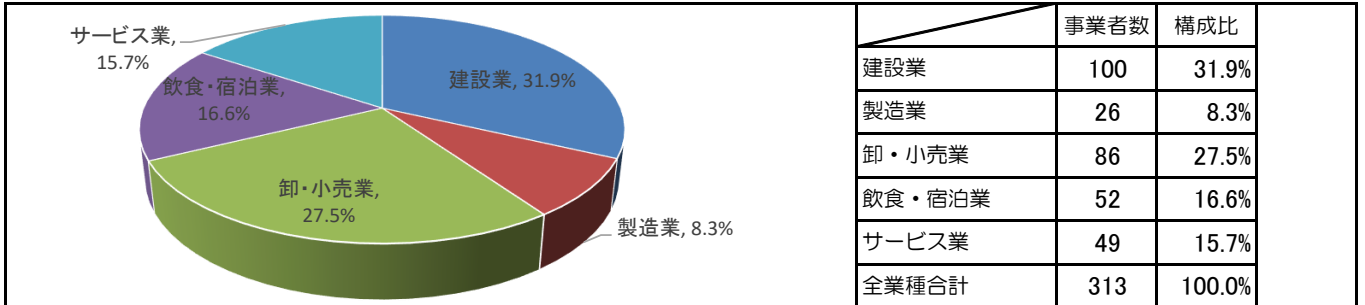


十日町市商工会地域 企業景況調査 第2四半期報告書 (R1.7.1~R1.9.30) 川西地区

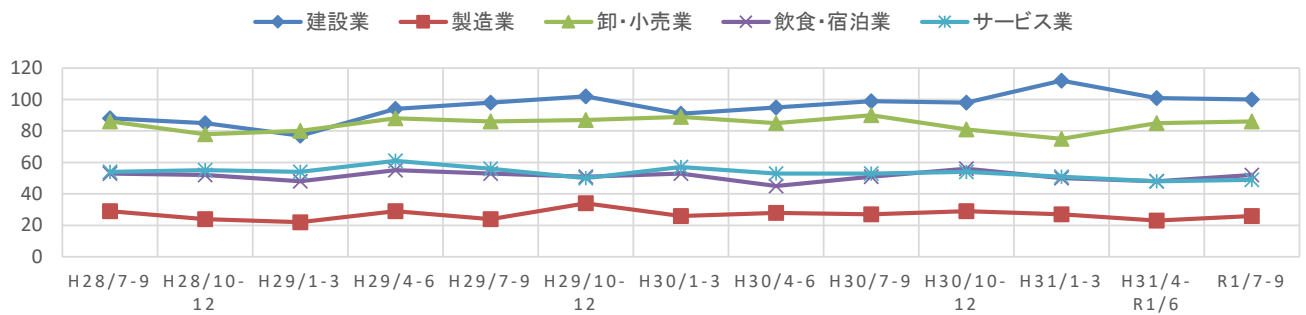
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



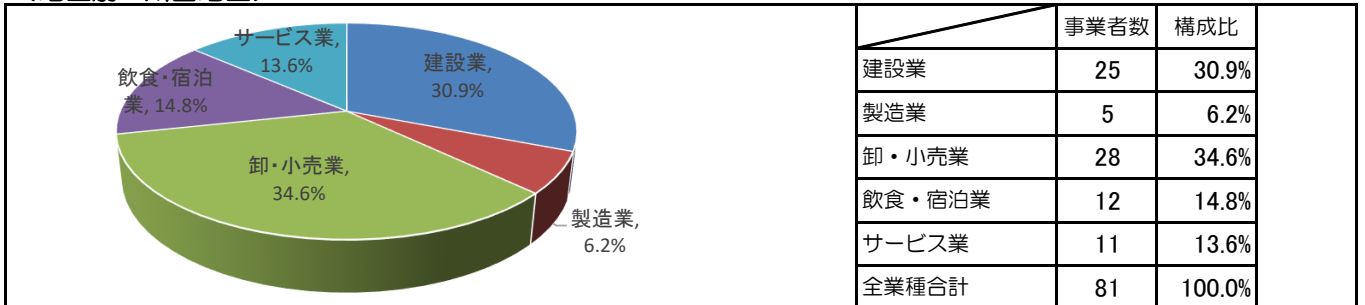
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



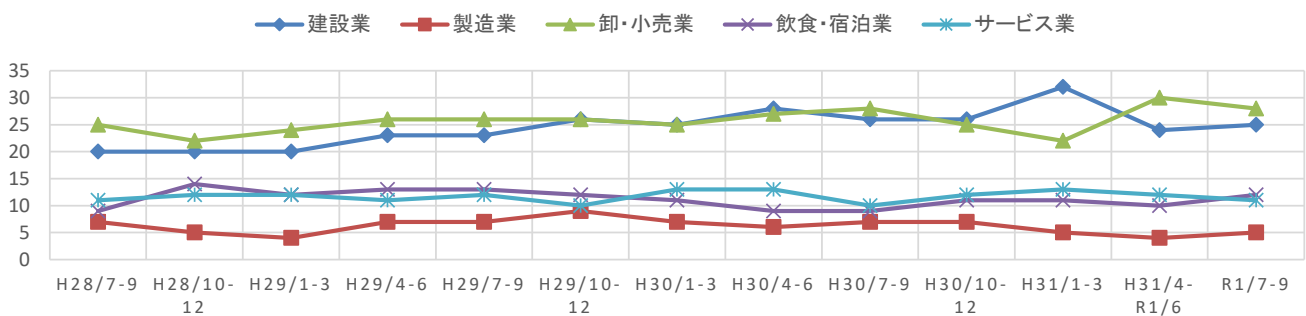
<コメント>

今回調査の回答事業所数は、前回調査よりも8事業所増えていて、十日町市内商工会地域全体(約1,000社)の約3割の事業所から今回も回答を得ることができた。推移グラフからわかるとおり業種別の大きな変動はなく、前回と同じ構成割合といえる。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

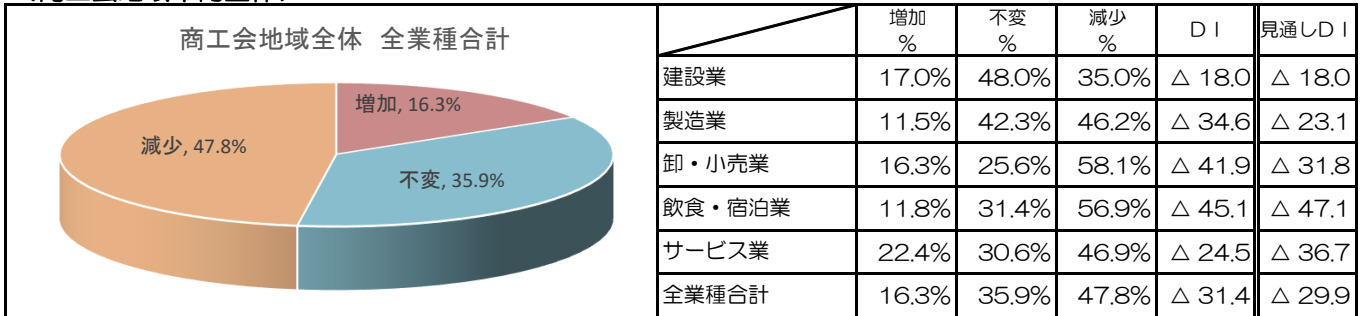
川西地区の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし、81社(回収率81%)からの回答を基にした集計結果である。製造業の割合が少ないものの、これまでの調査対象事業所数と同様の数値である。

$$DI \text{ 値 (景況判断指数)} = (\text{増加} \cdot \text{好転などの回答割合}) - (\text{減少} \cdot \text{悪化などの回答割合})$$

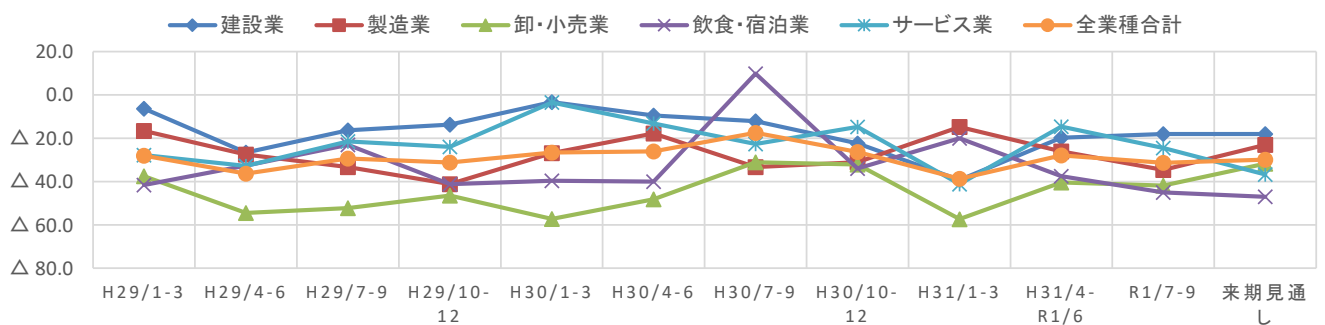
1. 売上について

- ・7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



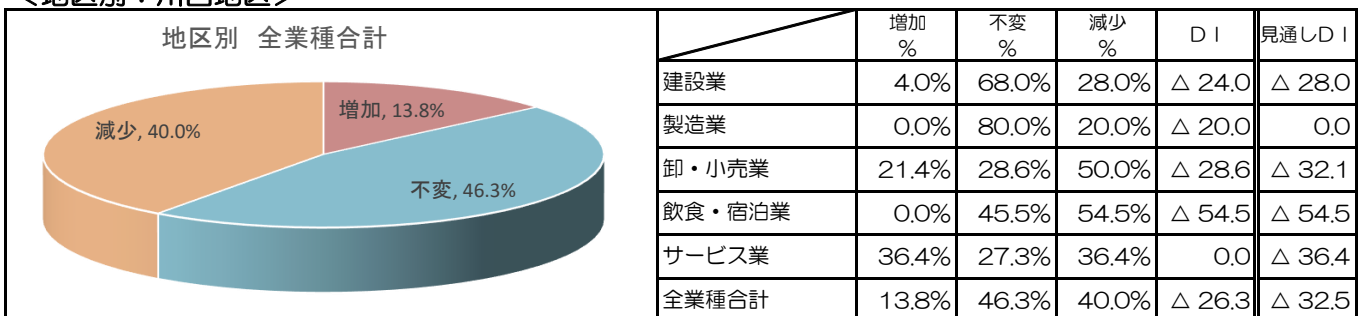
業種別売上の推移(市内全体)



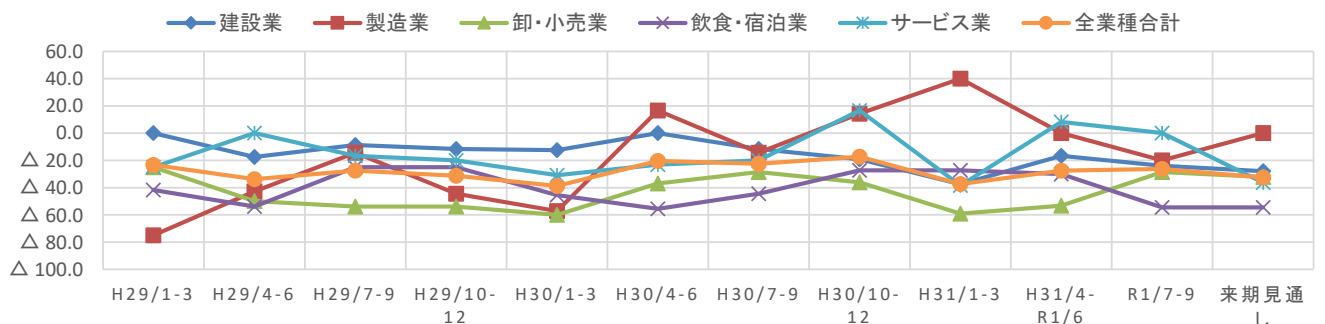
<コメント>

今期の市内全体の売上状況は、全業種DI値で△31.4ポイントで、前回調査時よりも3.4ポイント悪化している。前回調査時の来期見通しにて改善予測されていたものの、飲食・宿泊業でのマイナスポイントが大きく、全体の数値を下げる結果となった。来期見通しでは、飲食・宿泊業とサービス業で悪化予測されているが、その他の業種では今期と同様若しくは増加予測されており、全業種でのDI値は今期よりも若干改善予測となっている。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移(地区別)



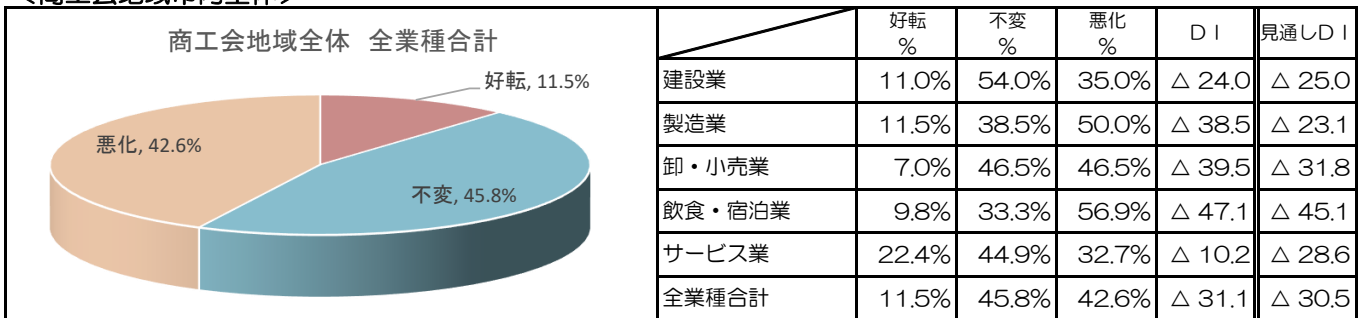
<コメント>

川西地域の売上は業種全体で前年同期と比較して△26.3ポイントの減少となっている。サービス業は不変を示している一方で、飲食・宿泊業の減少が目立っている。来期見通しでは全業種で△6.2ポイントの悪化を予想している。

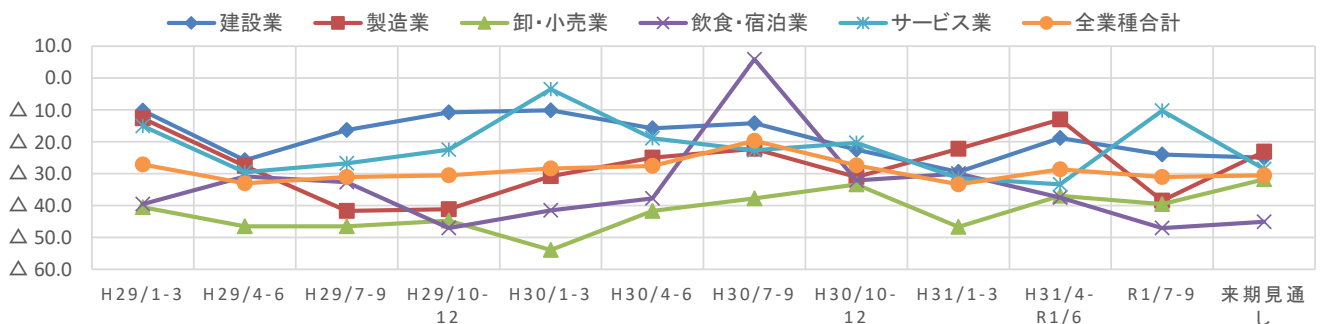
2. 採算について

- ・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



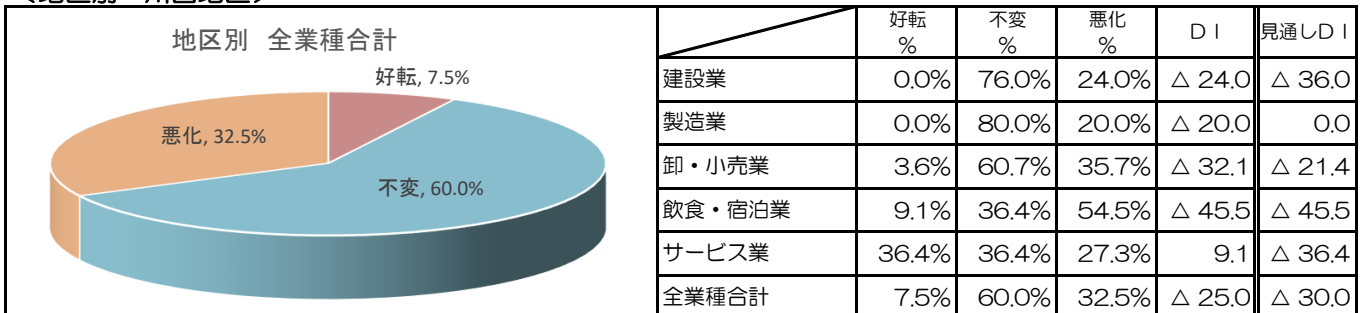
業種別採算の推移(市内全体)



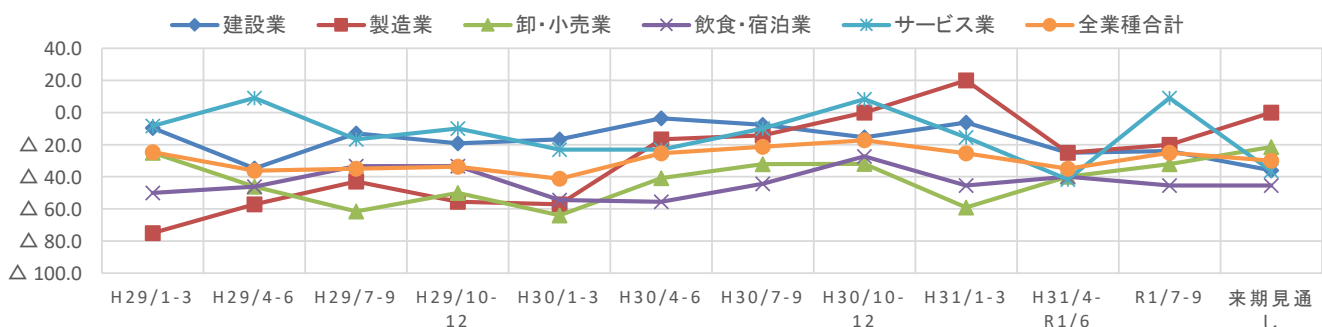
<コメント>

今期の市内全体の採算状況は、全業種DI値で△31.1ポイントであり、前回調査時よりも2.5ポイント悪化となっている。業種別ではサービス業のみ好転となっており、その他の業種は悪化を示している。特に製造業と飲食・宿泊業で悪化となっている。来期見通しではサービス業で悪化予測されているが、その他の業種で好転予測されていることもあり、全業種では若干の好転予測となっている。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)



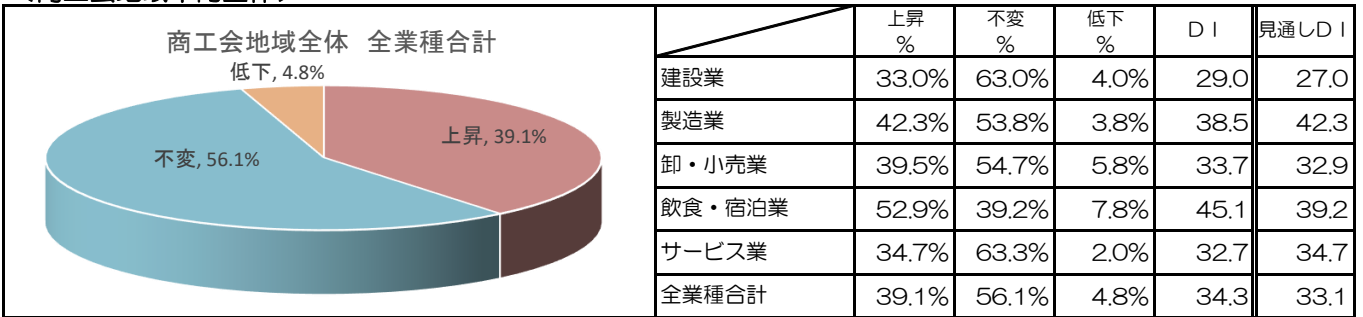
<コメント>

川西地域の採算性は前年同期と比較して△25.0ポイントの悪化となっているが、一方でサービス業のみ9.1ポイントの改善を示している。来期見通しでは全業種で△5.0ポイントの悪化を予想している。

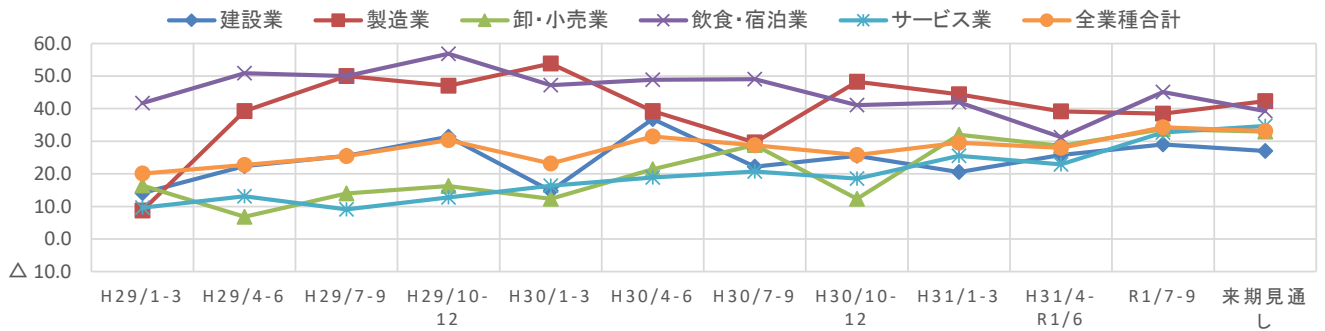
3. 仕入単価について

- ・7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



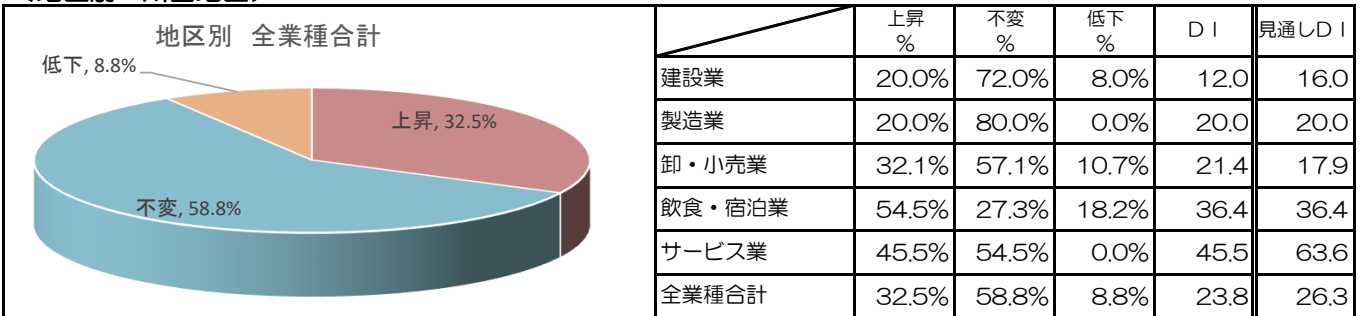
業種別仕入単価の推移(市内全体)



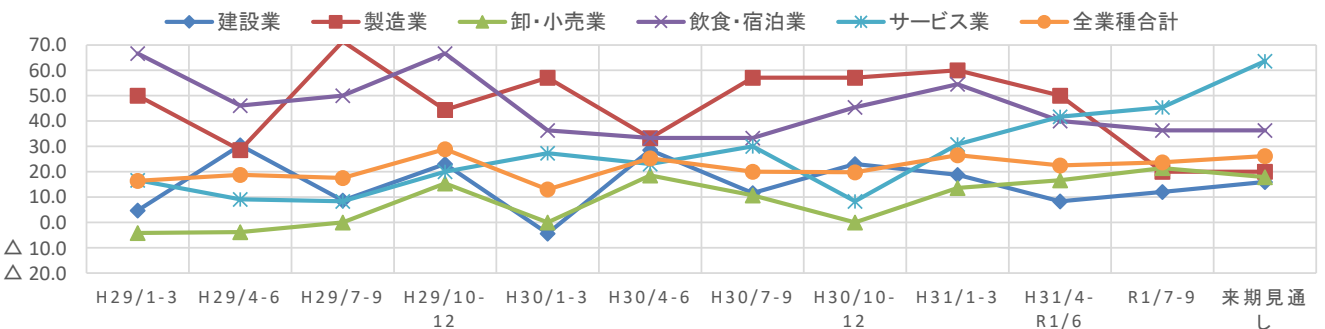
<コメント>

今期の市内全体の仕入単価の状況は、全業種DI値で34.3ポイントとなっており、前回調査時よりも6.3ポイントの単価上昇となった。製造業にて前期よりも若干の低下が見られたが、その他の業種は単価上昇となっている。来期見通しでは業種によって多少の変動があるものの、全業種では今期とほとんどかわらない予測となっている。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



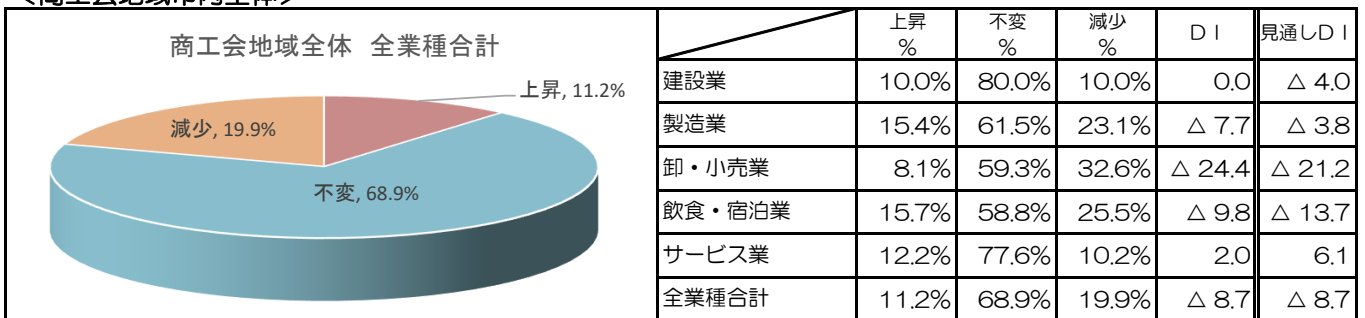
<コメント>

川西地域の仕入単価は前年同期と比較して、23.8%の上昇を示しており、飲食・宿泊業、サービス業における仕入単価の上昇が大きくなっている。来期見通しでは2.5ポイントの仕入単価の軽減が見込まれている。

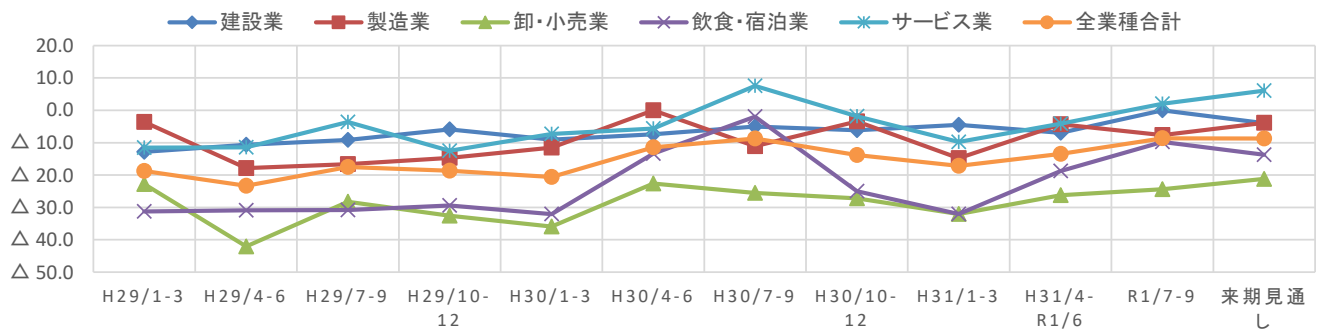
4. 販売（客）単価について

- ・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



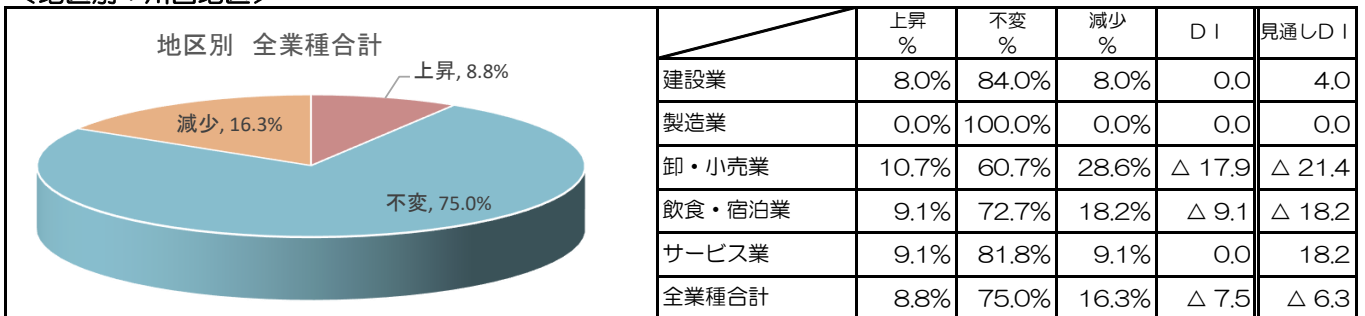
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



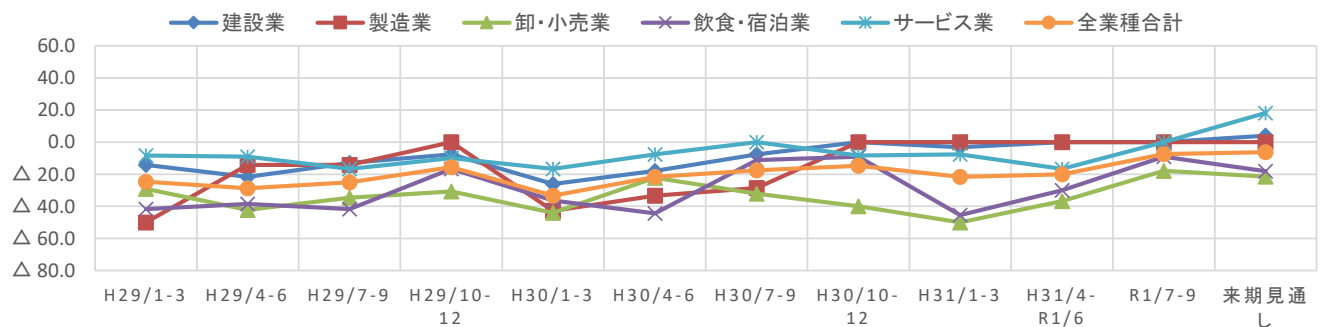
<コメント>

今期の市内全体の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△8.7ポイントで、前回調査時よりも4.8ポイント上昇している。製造業で減少が見られたが、その他の業種は単価上昇となっており、消費税率改正の駆け込み需要が多少影響したものと推測できる。来期見通しでは業種により上昇、減少のバラツキが見られるが、全業種でのDI値は今期と同様となっており、大きな変動はないものと予測されている。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



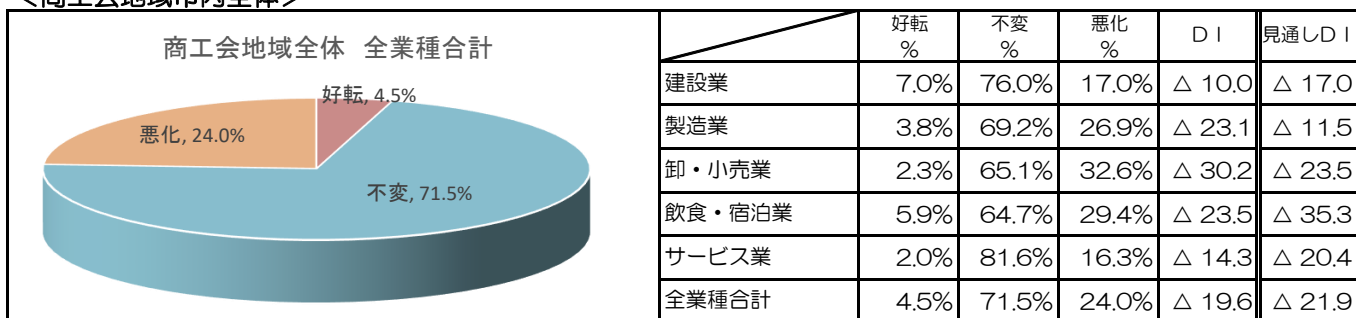
<コメント>

川西地域の販売単価は前年同期と比較して△7.5ポイントの悪化となっているが、建設業、製造業、サービス業においては不変との結果である。来期見通しでは1.2ポイントの改善が予想されており、建設業、サービス業では来期での好転を見通している。

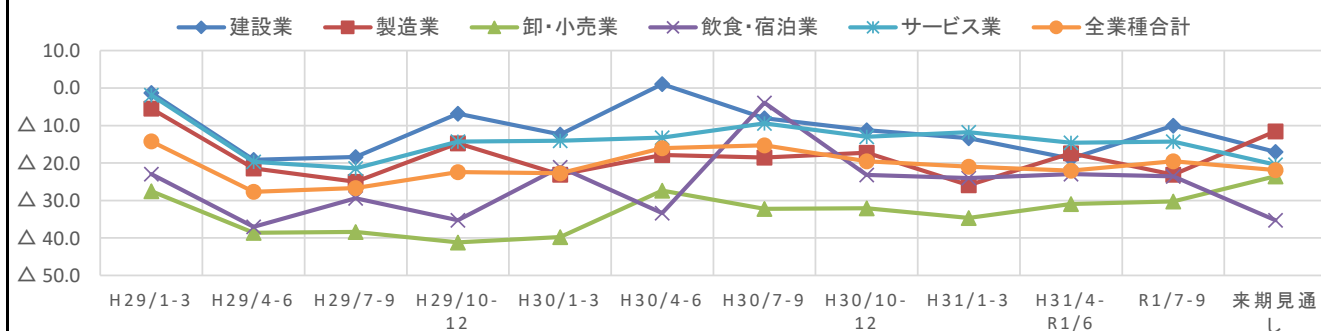
5. 資金繰りについて

- ・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



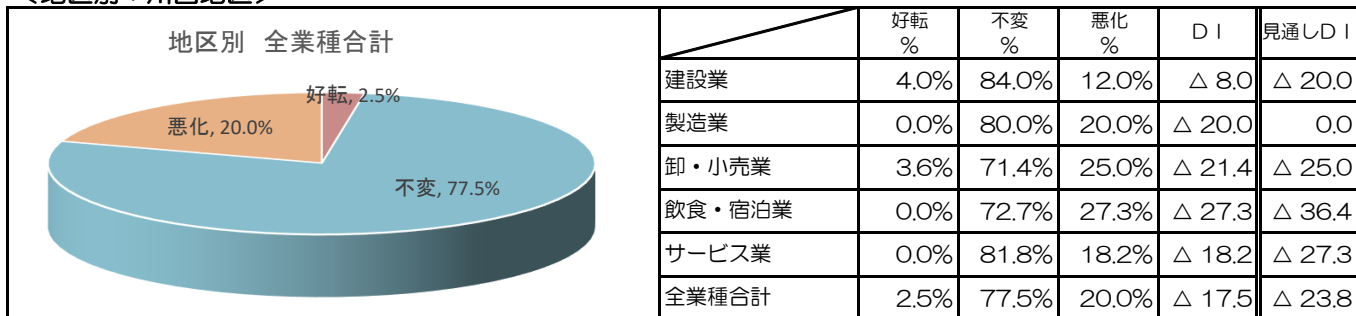
業種別資金繰りの推移(市内全体)



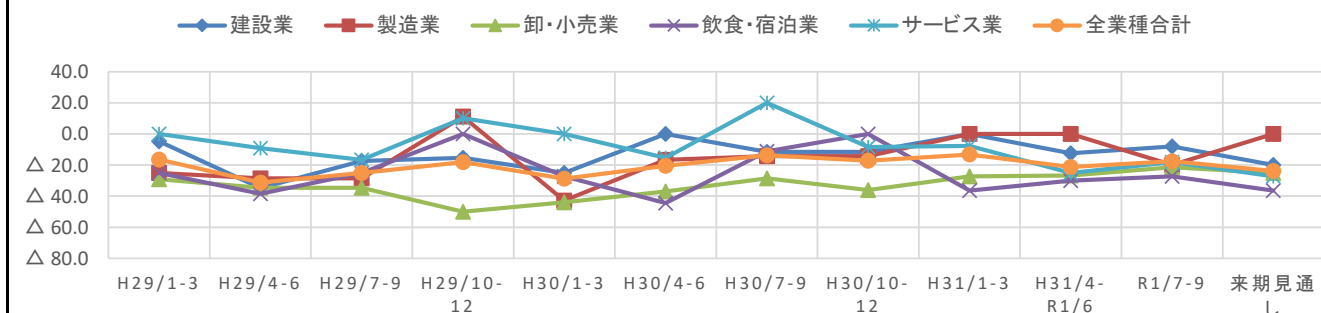
<コメント>

今期の市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△19.6ポイントであり、前回調査時よりも2.4ポイント好転している。製造業と飲食宿泊業で悪化を示しているが、その他の業種では好転している。来期見通しでは製造業と卸・小売業で好転予測されているものの、その他の業種では悪化予測があり全業種でのDIは今期よりも若干の悪化予測となっている。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



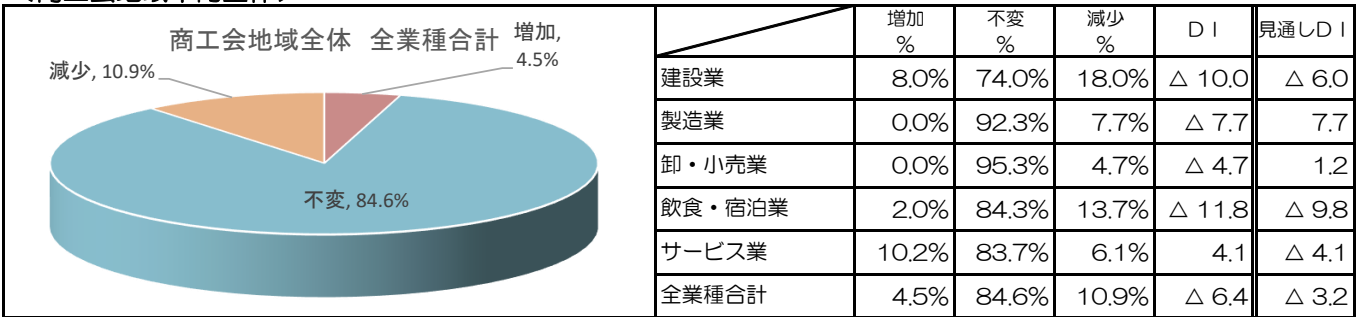
<コメント>

川西地域の資金繰りは△17.5ポイントの悪化であり、全業種を通して悪化との回答が多かった。来期見通しは△6.3ポイントの悪化を予想している。

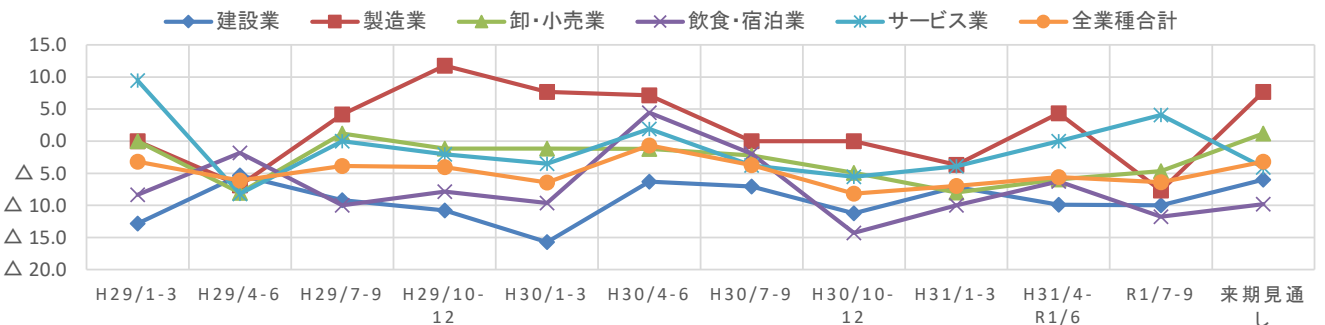
6. 従業員数について

- ・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



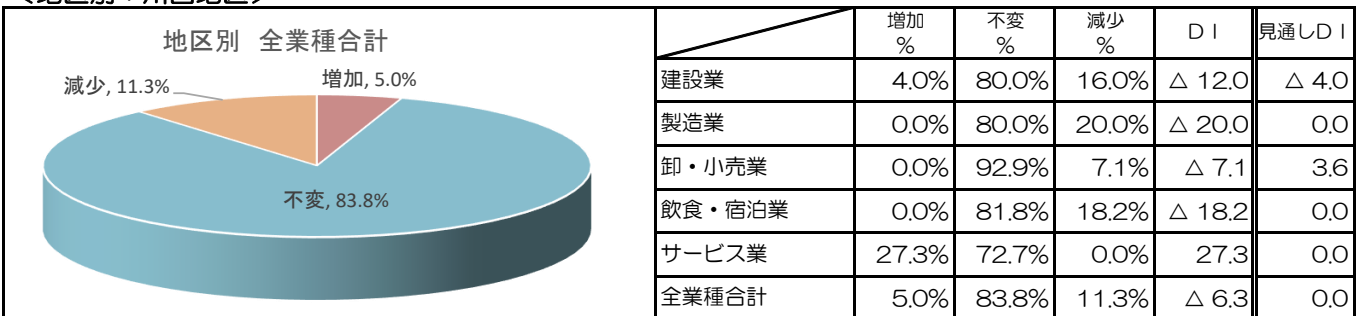
業種別従業員数の推移(市内全体)



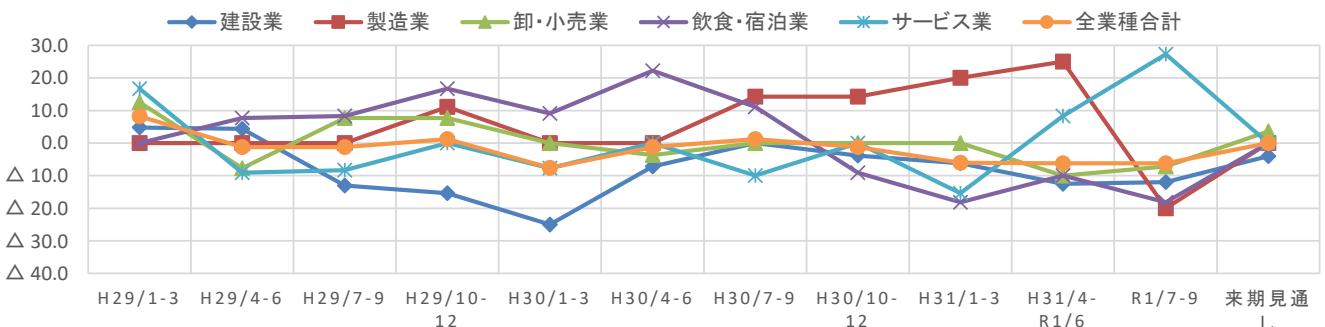
<コメント>

今期の市内全体の従業員数の状況は、全業種DI値で△6.4ポイントとなっており、前回調査時よりも0.8ポイント減少となっている。製造業と飲食・宿泊業にて減少が見られたが、その他の業種では増加を示している。来期見通しではサービス業で減少予測されているが、その他の業種では増加予測されており、全業種DIにおいても今期よりも増加予測されている。

<地区別：川西地区>



業種別従業員数の推移(地区別)



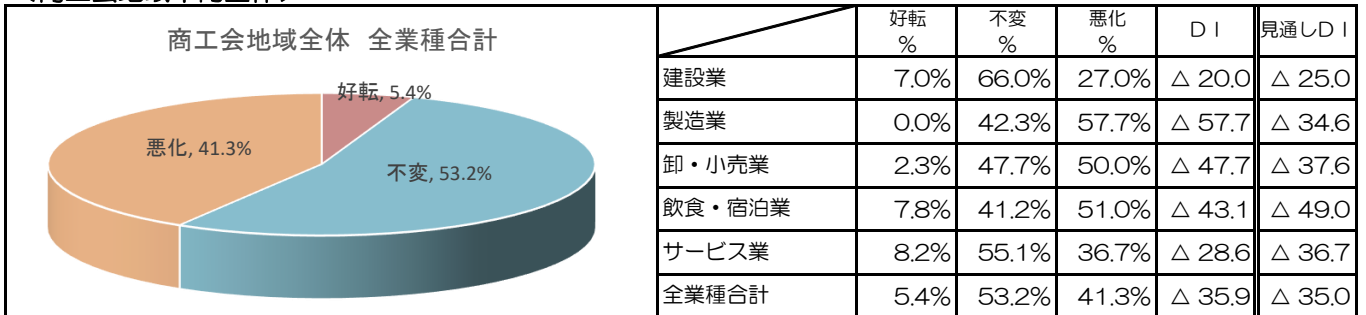
<コメント>

川西地域の従業員数は全業種で△6.3ポイントの悪化であるが、サービス業においては従業員数が増加している傾向にある。全業種から見た来期見通しとしては6.3ポイントの改善が予想されている。

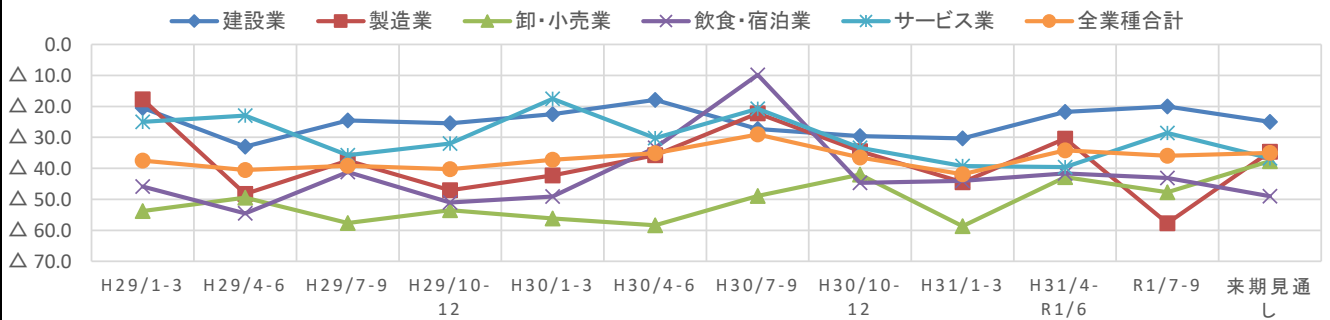
7. 景況判断について

- ・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



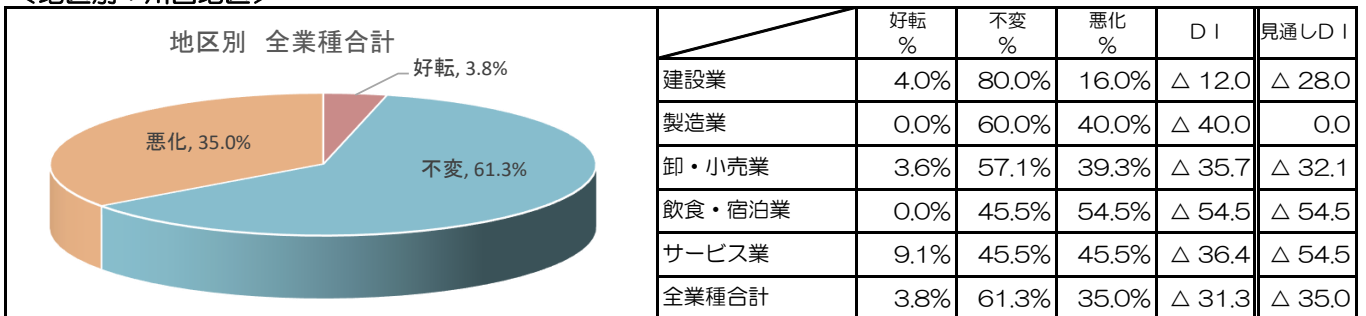
業種別景況判断の推移(市内全体)



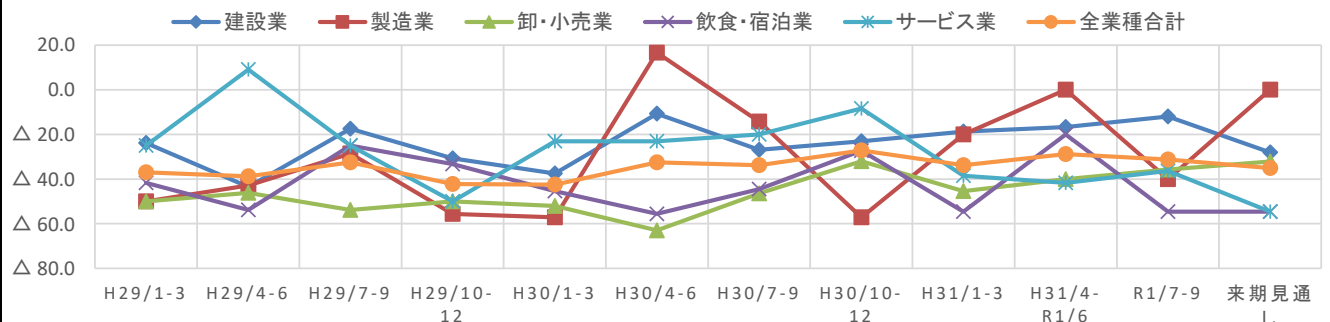
<コメント>

今期の市内全体の景況判断は、全業種DI値で△35.9ポイントとなっており、前回調査時よりも1.7ポイント悪化となっている。建設業とサービス業にて好転となっているが、その他の業種では悪化を示している。来期見通しでは、業種により好転、悪化とバラツキが見られるものの、全業種のDI値は今期と大きな変動は見られない。

<地区別：川西地区>



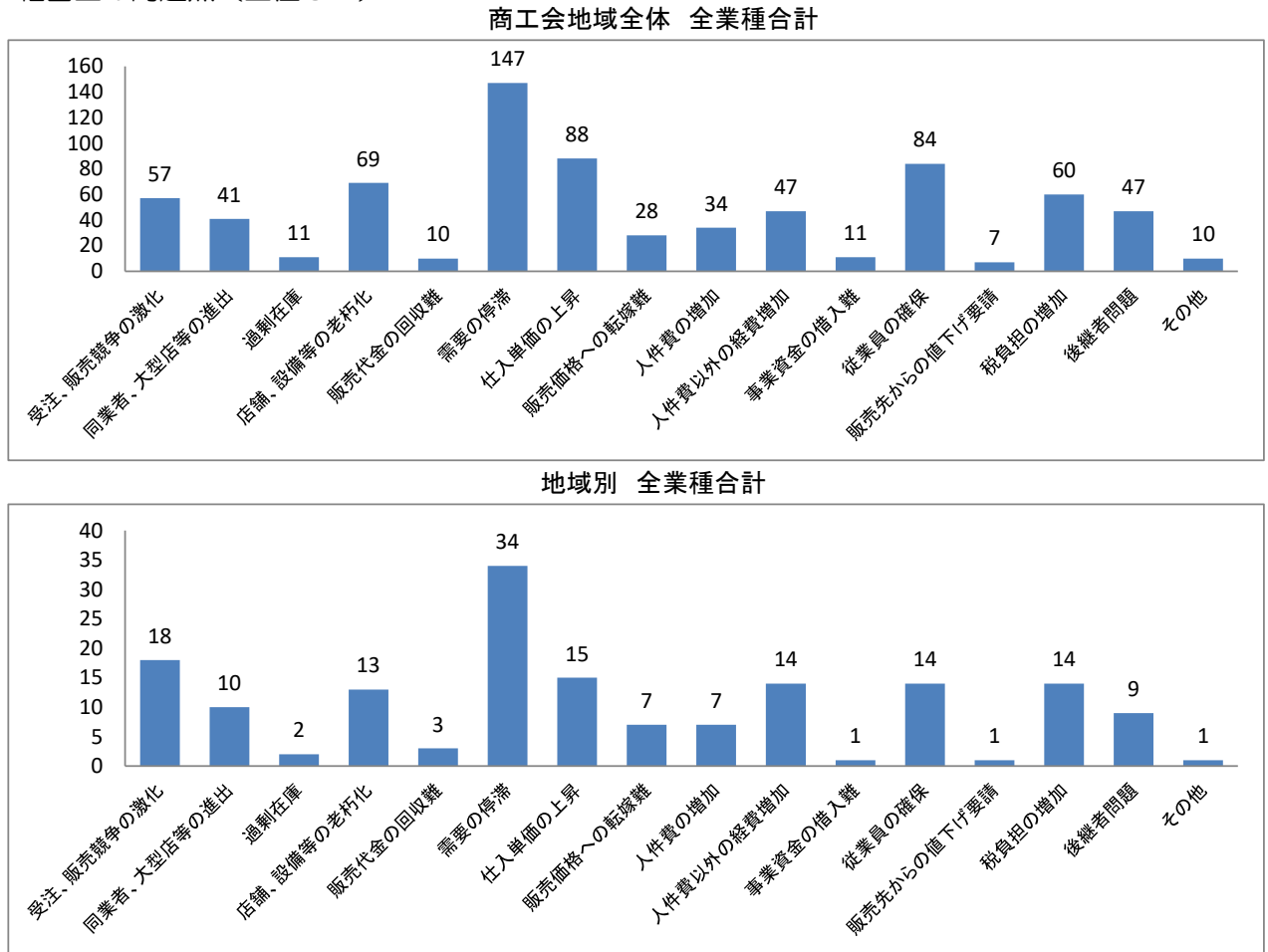
業種別景況判断の推移(地区別)



<コメント>

川西地域の景況判断としては全業種で△31.3ポイントの悪化を示しており、中でも飲食・宿泊業の悪化が顕著となっている。来期見通しとしては全体的に△3.7ポイントの悪化が予想されている。

8. 経営上の問題点（上位3つ）



<コメント>

今期調査での経営上の問題点は、前回調査時と1位から4位まで同じで、1位「需要の停滞」2位「仕入単価の上昇」3位「従業員の確保」4位「店舗、設備等の老朽化」であった。

川西地域の経営上の問題は、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「仕入単価の上昇」が挙げられており、前回とほぼ同様の順位となった。

9. 地区の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

【建設業】

建設業においては全体的に悪化の回答が多い中、「販売(客)単価」においては前年同期と不変との結果を示した。また、経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「受注販売競争の激化」3位「従業員の確保」が挙げられており、前回3位であった「需要の停滞」の順位が上昇する結果となった。そして、競合の動向に注目する事業所が増加傾向にある。

【製造業】

製造業においても全体的に悪化の回答が多い中、「販売(客)単価」については前年同期と不変を示す形となった。経営上の問題点としては1位「店舗、設備等の老朽化」2位「需要の停滞」3位「販売代金の回収難」4位「販売価格への転嫁難」を挙げており、「店舗、設備等の老朽化」の順位が上昇した他、「販売代金の回収難」や「販売価格への転嫁難」を問題点とする事業所が出てきている。

【卸・小売業】

卸・小売業においても全体的に悪化との回答が多くなっており、経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「同業者、大型店等の進出」、「税負担の増加」が挙げられている。「需要の停滞」は前回同様1位である一方、10月以降の消費税増税を懸念して「税負担の増加」を問題点として挙げる事業所が増えている。

【飲食・宿泊業】

飲食・宿泊業においても全体的に悪化の傾向が表れており、「売上」「採算」「景況判断」の項目では他の業種よりも特にDIが低くなっている。経営上の問題点は1位「需要の停滞」2位「仕入単価の上昇」3位「店舗、設備等の老朽化」であり、問題点は前回調査と同様のものが挙げられていることから、飲食・宿泊業者の抱える経営課題は概ね共通しているといえる。

【サービス業】

サービス業においては「採算」「従業員数」が改善されており、「売上」と「販売(客)単価」が不変とのことであった。しかし、「仕入単価」については他の業種よりも特に悪化(仕入単価上昇)との見方をする事業所が多い。経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」、「店舗、設備等の老朽化」、「人件費以外の経費増加」が挙げられており、前回3位であった「需要の停滞」の順位が上昇している。サービス業では依然として仕入単価の上昇に悩む事業所が多い傾向にある。